

授業科目	地域観光資源開発論				実務家教員担当科目	-					
単位	2.	履修	選択	開講年次	3	開講時期	後期				
担当教員	池口 功晃										
授業概要	本授業は地域に根差す文化や生産物の観光資源化について学び、新しい切り口で地域の観光資源を生み出す力を養うことを目的としている。具体的には、第1回から第11回までは地域資源の活用や観光資源開発など、これまで全国でおこなわれてきた取り組みについて学び、これらを参考に第12回からは学生自身が特定の地域に焦点を当て、新しい観光資源を立案・発表する。										
授業形態	講義			授業方法							
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	1. 地域資源の観光資源への活用について学ぶ。 2. 地域の特徴を活かした観光資源のありかたについて考える。  地域資源の観光資源化への取り組みについて理解できるようになる。										
理想的レベル	地域の課題を発見し、観光資源の開発について具体的な案を示すことができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法		評価割合（数値）				備考					
試験											
小テスト											
レポート		50%									
発表（口頭、プレゼンテーション）		50%									
レポート外の提出物											
その他											
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	-	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	T031506J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安（時間）	
該当部分の復習										4	
授業計画											
第1回	授業ガイダンス										
第2回	地域観光資源の意義と活用										
第3回	地域観光資源開発の主体、DMO とは何か										
第4回	事例研究1（モノの消費）										
第5回	事例研究2（コトの消費）										
第6回	事例研究3（TDR【東京ディズニーリゾート】の経営戦略）										

第7回	事例研究4（時空間のプロデュース、物語化）
第8回	事例研究5（情報発信、イメージの形成）
第9回	事例研究6（地域ブランド）
第10回	事例研究7（ダークツーリズム）
第11回	事例研究8（インバウンド観光客）
第12回	研究発表会1（Aグループ）
第13回	研究発表会2（Bグループ）
第14回	研究発表会3（Cグループ）
第15回	研究発表会4（Dグループ）
テキスト	毎回レジュメを配布する。
参考図書・教材 ／データベース・ 雑誌等の 紹介	大社充『体験交流型ツーリズムの手法 ―地域資源を活かす着地型観光―』学芸出版社
課題に対するフィードバックの方法	小テストは採点后、返却する。
学生へのメッセージ・コメント	1. マーケティングの知識が必要であるが、授業においても一部触れる。 2. さまざまな地域の特徴を理解する地理的素養が求められる。  日頃から地域活性化に関する新聞記事やニュースに関心を持つように心がけてください。